【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2009-8813(P2009-8813A)
【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2009-002
【出願番号】特願2007-169074(P2007-169074)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/30　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/22　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｌ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６３１Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｖ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｒ
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/30　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６３１Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｕ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/22　Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/28　Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６５０Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｑ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月23日(2010.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
上部表示部と下部表示部に分割された表示部と、映像データを書き込み、且つ、書き込まれた前記映像データを前記上部表示部と前記下部表示部のそれぞれに上部表示データ及び下部表示データとして供給するフレームメモリと、を備え、
前記表示部に、Ｎフレーム／秒の前記映像データを２Ｎフレーム／秒の表示周期で表示する表示装置の表示方法であって、
前記上部表示部に前記フレームメモリからのＩ＋１番目のフレームの映像データの前記上部表示データを走査している時、前記下部表示部には前記Ｉ＋１番目のフレームより一つ前のフレームのＩフレームの映像データの前記下部表示データを同時に走査する第１の工程と、
前記第１の工程に続いて、前記上部表示部に前記フレームメモリからのＩ＋１番目のフ

レームの映像データの前記上部表示データを走査している時、前記下部表示部には前記Ｉ＋１フレームの映像データの前記下部表示データを同時に走査する第２の工程を行うことを特徴とする表示方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
本発明は、上部表示部と下部表示部に分割された表示部と、映像データを書き込み、且つ、書き込まれた前記映像データを前記上部表示部と前記下部表示部のそれぞれに上部表示データ及び下部表示データとして供給するフレームメモリと、を備え、

前記表示部に、Ｎフレーム／秒の前記映像データを２Ｎフレーム／秒の表示周期でする表示装置の表示方法であって、

前記上部表示部に前記フレームメモリからのＩ＋１番目のフレームの映像データの前記上部表示データを走査している時、前記下部表示部には前記Ｉ＋１番目のフレームより一つ前のフレームのＩフレームの映像データの前記下部表示データを同時に走査する第１の工程と、

前記第１の工程に続いて、前記上部表示部に前記フレームメモリからのＩ＋１番目のフレームの映像データの前記上部表示データを走査している時、前記下部表示部には前記Ｉ＋１フレームの映像データの前記下部表示データを同時に走査する第２の工程を行うことを特徴とする。